

コード	302020202
記入日	H23.12.1

課コード	110
課名	福祉長寿課
課長名	峯脇 泉
担当者	山下 康延

事務事業事前評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	生活館改修事業
----------	---------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 24 年度 ～ 平成 26 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	302	施策名称	協力し支えあう地域福祉の推進	項コード	1
基本事業コード	30202	基本事業名称	地域福祉推進体制の整備	目コード	1
事務事業コード	3020202	事務事業名称	社会福祉総務管理事業費（人件費以外）	細目コード	193
関連計画	新上五島町公共施設見直し実施計画		法令・条例規則等	新上五島町生活館条例	

計画 (PLAN)

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標			
(対象1) 地区住民 (対象2)	(対象指標1) 榎津地区 452人 (対象指標2)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標			
・平成23年1月に要望書を受理して以来、他の生活館の修繕等の状況を見ながら段階的に予算を要求する考えであり、新年度においてまず、榎津生活館の老朽化した部分や高齢者に配慮した改修を行う。榎津生活館1階大広間フローリング張りから畳張りへ変更、1階大広間舞台カーペット張替え、1階大広間舞台横倉庫へ流し台・コンロ台設置、玄関ホールフローリング張り。	(活動指標名称)	(活動指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
	① 改修工事	1.0式		平成24年度
	②			
	③			
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標			
・高齢者を含む施設利用者が不便なく快適に施設利用できるように、必要な改修を行うもの。	(成果指標名称)	(成果指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
	① 進捗率	100%	実施事業費+全体事業費	平成24年度
	②			
	③			

実施 (DO)

	単位	全体計画	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		H 24 ～ H 26							
活動指標	式	1.0		1.0					
成果指標	%	100		100					
総事業費 C (A+B)	千円	2,787		2,787					
直接事業費 A	千円	2,087		2,087					
人件費 B	千円	700		700					
内訳	従事職員数	人		0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円							
	県補助金	千円							
	起債	千円	1,900	1,900					
	その他	千円							
一般財源	千円	887		887					

評価 (CHECK)

評価項目		内 容
1次評価	事業の緊急性・必要性	公共施設見直し実施計画に基づく「移譲」路線から「指定管理」路線への変更を余儀なくされている状況であるが、いずれにしても現時点では使用料を徴収する施設であること、主として利用する地域住民の高齢化等を鑑みれば、必要性は高いと考える。さらに、高齢者ミニデイ事業等も階段の昇降があるため参加人数が停滞している状況もあり、改善されれば高齢者福祉の増進にも寄与される。
	類似事業との関連	類似事業はない。
	費用対効果	利便性の向上、快適な施設利用と言う面では格段に効果あがる。

2次評価	・ 地域住民の高齢化や施設の老朽化により利用者に不便をきたしていることから、本事業の実施は必要と判断するが、事業実施にあたっては、経費の節減に努めること。また、生活館の管理のあり方については、公共施設見直し方針に基づき整理していくものとする。
------	---

住民等の意見	
町の対応	

事業採択結果	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			計画どおりに事業を実施する				次年度以降に計画どおり実施する
		●		事業内容を見直して事業を実施する				次年度以降に計画を見直して実施する
				事業費を増額して事業を実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
				事業費を減額して事業を実施する				当分の間は実施しない
				類似事業と整理統合して実施する				

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。